



野口昌作議員

問

①合併後4年間で、1000人、1か月に20人、3か月に1世帯が減少している。新年度予算編成の理念は。

②人口減少により弱体化している集落がある。担当職員を置くことを考えないか。

③水田活用自給力向上事業が始まり、バイオ燃料米などに10a当たり8万円の交付金が支給される。農家経営の安定、環境に優しい町の実現に向けて、バイオ燃料抽出プラントの建設に関する調査など行わないか。

④商工業振興策で地域の発行、施策と予算化は。

⑤町報8月号「歩くプール建設の中止」の記事で、「幅広い介護、健康増進」と述べ、議会とも

新年度予算の理念は

町長

大山の恵みで元気なまちづくり

協議すると言っているが。

⑥徘徊者の位置が分かるようなシステムを導入し、貸し出さないか。

⑦学校給食の麦粉パンを米粉パンに変更できないか。

答 森田町長

①政府の予算編成を注視し、健全で安定的な町政確立、行財政改革、限りある財源の効率的活用、少子高齢化施策、地震対策、防犯、防災対策等、「大山の恵みを受け継ぎ、元気を拓くまちづくり」に積極的に取り組む。

②集落の健康診断、行政と協働できる「まちづくり」を推進するため、職員の班編成をし、活性化を支援する計画をしている。

③バイオ燃料抽出プラントの調査は検討する必要があると思う。国の方針が確定していない現状では、建設についての計画は考えない。

④企業支援、雇用支援、住民生活支援の3つの柱を基本とする。財政の許すかぎり支援したい。

⑤中山温泉エリア魅力発信の取り組みは、高規格道路の進行と合わせ、文教と福祉の視点で検討したい。

⑥機器を購入される場合の一部補助制度を検討している。

答 伊澤教育委員長

⑦週1回パン給食を実施している。麦粉パンは約43円、米粉パンは約64円である。検討したい。

大山チャンネルは今以上の発信を

町長

内容の充実に努める

問

予算は年間約3億円である。町からのお知らせ、議会の実況中継、イベントなどが放映され、町と町民を結んでいる。今以上の情報発信を考えねばならない。

◎イベント放映の活性化に向けてボランティアの投稿者の募集

◎研修を行い協力者の態勢整備

◎町内の諸問題についての討議

◎各課の仕事の近況

問

◎予算の状況・生活上に向けての実践例

◎農業技術の実況中継などに取り組んではどうか。

答 森田町長

情報通信事業は、都市部との格差を是正するこ

とであり、その環境を全町に整備することを目的として進めた。その後、ケーブルテレビも難視・難聴対策として副次的に



大山チャンネルの編集

加えられた。したがって、通信施設の維持管理費がウエイトを大きく占めている。

ケーブルテレビの送出には最低限のものしか整備していないのが現状である。具体的番組は、大山町のあり方を考える会や各課紹介である。提案を参考にしながら内容の充実に努める。

このほか、水道事業会計・大山ファンクラブなどに